

令和8年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

地域連携・交通部では、「公共交通の確保・充実」「地域の振興」「スポーツの推進」「県南部地域の活性化」に向け、市町等との連携を進めつつ、部局横断的・総合的な視点による地域活性化に取り組んでいます。

令和8年度においては、交通空白地等における公共ライドシェアなどによる移動手段の確保や交通事業者の運転士不足への対応に取り組むとともに、人口減少下における社会減対策の1つである移住の促進に取り組みます。

選手等への支援や指導者の養成、第89回国民スポーツ大会の在り方検討とともに、県民の皆さんのがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組みます。

豊かに暮らし続けられる南部地域づくりに向けた取組を進めるとともに、熊野古道の持続可能な保全と活用のための取組を進めます。

2 主な重点項目

(1) 公共交通の確保・充実

[交通政策課 (224-2622)]

[広域交通・リニア推進課 (224-2805)]

地域の実情に応じた移動手段の確保に向け、公共ライドシェアなど新たな移動サービスの導入を進める市町等の取組を支援します。特に、既存の交通事業者と共存可能な公共ライドシェアモデルの構築に向け、市町とともに実証に取り組みます。また、公共交通の乗降データや人流データなどのモビリティデータを活用した地域交通の課題解決に取り組むとともに、市町職員を対象に“交通のプロ”を育成するため、実践的な講座を開設します。さらに、運転士不足に対応するため、女性や若者向けのバス運転士体験会を開催するとともに、二種免許取得費用の支援や誰もが働きやすい職場環境の整備に取り組む交通事業者を支援します。

JR関西本線（亀山～加茂間）の活性化のため、沿線市と連携してマイレール意識の醸成や日常利用につながるモデル的な取組を実施するとともに、引き続き関西方面からの誘客・利用促進の取組を進めます。また、地域鉄道やバス路線などの維持・活性化に向け、国や市町と協調し事業者を支援します。

リニア中央新幹線については、名古屋・大阪間のルート・駅位置の早期確定や一日も早い全線開業に向け、沿線自治体等と連携して要望活動を行うとともに、県民のリニア事業に対する理解や協力を得られるよう、一層の機運醸成に取り組みます。また、令和8年3月に策定予定の「みえリニア戦略プラン（仮称）」に基づき、市町等と連携して、リニア開業効果を県内全域に波及させるための取組を進めます。

〈主な事業〉

① (一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業

予算額 216,112千円

(226,330千円 ※R7年度2月補正予算含みベース)

② (一部新) 鉄道活性化促進事業

予算額 21,123千円

③ 鉄道利便性・安全性確保等対策事業

予算額 134,485千円

④ 伊勢鉄道基盤強化等対策事業

予算額 139,939千円

⑤ 地方バス路線維持確保事業

予算額 292,203千円

⑥ リニア中央新幹線関係費

予算額 21,673千円

(2) 移住の促進

[地域づくり推進課 (224-2351)]

[移住促進課 (224-2420)]

本県への人口流入を促進するため、移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションを実施するとともに、県独自の移住フェアを東京、名古屋、大阪で開催することにより、本県のさらなる認知度向上を図ります。若者が気軽に相談できるAIを活用した移住相談の仕組みの構築や、よりきめ細かな相談対応を可能とする移住相談システムの導入を進めます。移住者数の増加に向けた実行計画となる「三重県移住促進計画（仮称）」を策定します。

移住希望者の不安軽減や県内定着を図るため、市町などが実施するお試し住宅の整備や移住体験ツアーへの補助、県外からの移住者を対象とした空き家リフォーム費用への支援や、移住者と地域をつなぐ人材の育成などをを行い、移住者の受入態勢充実に取り組みます。また、東京圏からの移住を後押しする移住支援事業や移住のきっかけとなる「二地域居住」の促進に、市町と連携して取り組みます。

地域おこし協力隊については、定住・定着の促進に向けて、隊員をサポートする中間支援組織とともに、市町と元隊員等が連携した支援体制づくりを行うなど、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」の各段階での取組を強化します。

〈主な事業〉

① (一部新) 移住促進事業

予算額 94,969千円

② 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業

予算額 41,463千円

③ (一部新) 地域おこし協力隊サポート事業

予算額 8,443千円

(3) 競技スポーツの推進

[スポーツ推進課 (224-2985)]

[競技力向上対策課 (224-2996)]

国民スポーツ大会をはじめとする全国大会や国際大会で活躍できるよう、選手・チームの強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます。また、全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します。

令和17年に本県で開催予定の第89回国民スポーツ大会の開催準備を進めるとともに、開催予定県との連絡調整、県内関係市町・団体との調整、協議等を行います。

県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」のサッカー・ラグビー場メインスタンドトイレ改修など、必要な整備を行うとともに、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます。

〈主な事業〉

① 競技力向上対策事業	予算額 261,200千円
② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業	予算額 2,323千円
③ (一部新) 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業	予算額 766,343千円
④ (一部新) 三重交通G スポーツの杜 伊勢事業	予算額 471,200千円

(4) 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

[スポーツ推進課 (224-2986)]

[競技力向上対策課 (224-2996)]

三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシーを活用して、大規模大会等の誘致・開催、スポーツイベントの開催等に取り組む市町および競技団体等を支援します。

スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげるため、スポーツを通じて活躍する子どもたちやチーム等を支援します。

中学校部活動の地域展開を促進するため、総合型地域スポーツクラブにおいて、指導者を養成するとともに、安全管理研修会や中学生を対象とした体験会等を開催します。

子どもから高齢者まで幅広い県民の皆さんができるだけ多くのスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ推進月間を中心に、(一社)三重県レクリエーション協会や各競技団体等と連携して「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催します。

また、令和8年4月の三重県誕生150周年を契機に、未来を担う子どもたちを主役とする「美し国三重市町対抗駅伝」を開催します。

障がい者スポーツの推進については、障がい者スポーツ選手の発掘につなげるため、初心者講習会や指導員の養成研修の実施、競技団体の遠征費の補助等を行うとともに、特別支援学校の児童、生徒を対象とした障がい者スポーツ教室を開催します。

〈主な事業〉

① レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業	予算額	97, 200千円
② 地域のきらりスポーツ推進事業	予算額	61, 959千円
③ 地域スポーツ推進事業	予算額	63, 607千円
④ (一部新) 地域スポーツイベント開催事業	予算額	49, 476千円
⑤ (一部新) 障がい者スポーツ推進事業	予算額	70, 283千円

(5) 南部地域の振興

[南部地域振興企画課 (224-2192)]

[東紀州振興課 (224-2193)]

[交通政策課 (224-2622)]

南部地域の活性化に向けて、地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、副業・兼業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます。

また、南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による取組を支援し、地域の人びとが豊かに暮らし続けられる地域づくりを進めます。

「三重県熊野古道活用プラン」に基づき、案内標識やトイレ、二次交通等の観光インフラ整備、さらなる誘客を図るための魅力発信の強化、持続可能な保全体制の構築に取り組みます。また、県立熊野古道センターの常設展示について、令和8年度はコンテンツ制作等を実施し、令和9年度を目途にリニューアルオープンができるよう取組を進めます。

〈主な事業〉

- ① (一部新) 南部地域活性化推進事業 (総合調整事業)

予算額 5, 490千円

- ② 南部の地域づくり連携推進事業

予算額 11, 750千円

- ③ 南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業

予算額 5, 085千円

- ④ (新) 南部地域の関係人口コーディネート事業

予算額 11, 504千円

<事業実施期間：令和8年度>

- ⑤ 南部地域活性化基金支援事業

予算額 6, 772千円

- ⑥ (一部新) 熊野古道活用促進事業

予算額 29, 927千円

(44, 483千円 ※R7年度2月補正予算含みベース)

- ⑦ (新) 熊野古道伊勢路の魅力発信・誘客促進事業

予算額 15, 483千円

<事業実施期間：令和8年度～令和10年度>

- ⑧ Easy Access to 東紀州！プロジェクト推進事業

予算額 25, 607千円

- ⑨ 東紀州地域集客交流推進事業

予算額 163, 297千円

公共交通の確保・充実 ①

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア 224-2805
推進課

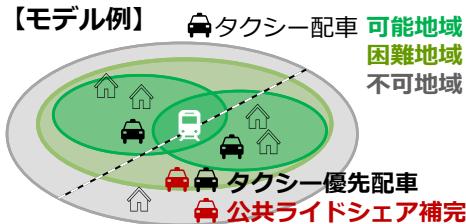
- 交通空白地等における移動手段を確保するため、公共ライドシェアの導入を一層推進するとともに、地域の実情に応じた移動手段の確保に取り組む市町への支援を強化します。
- 深刻化するバス・タクシー運転士不足への対応として、交通事業者や市町と連携して運転士確保等の取組を進めます。

地域内交通の充実

(一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 216,112千円 (2月補正予算を含む額 226,330千円)

公共ライドシェアの導入推進 (55,000千円)

新 既存の交通事業者と共に可能な公共ライドシェアモデルの構築に向けた実証



バス・タクシー 運転士不足への対応 (28,218千円※)

※2月補正予算 (10,218千円) を含む

新 女性や若者向けのバス運転士体験会の開催

- 都市部でのバス運転士専門の就職イベントにバス事業者と共同出展し、移住相談にもワンストップで対応
- 運転士確保に向けた交通事業者の取組への財政支援
- 各市町が取り組む自動運転の導入への支援



地域の実情に応じた移動手段の確保に取り組む市町への支援 (143,112千円)

課題把握
市町地域公共交通会議

対策検討
合同交通施策検討会

調査・設計等
公共ライドシェア等導入支援チーム



地域の課題把握から実情に応じた移動手段の定着まで切れ目なくワンストップで市町を支援するカウンターパート支援体制を構築

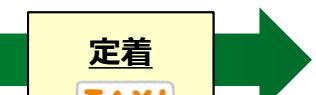
実証実験

検証

本格運行

検証

定着



伴走支援

国（中部運輸局）と県が市町を訪問し、課題の解決策を検討

国（三重運輸支局）と県に交通事業者を加え、運行スキーム設計等を支援

- 新** 人流データ等のモビリティデータを活用し的確に助言
- 新** 市町職員の“交通のプロ”を育成するための実践的な講座を開設



財政支援

- コミュニティバスの再編やデマンド交通等新たな移動手段の導入について、事前調査段階から定着まで補助金により切れ目なく支援
- 公共ライドシェアは導入を推進するため手厚く支援



公共交通の確保・充実 ②

交通政策課

224-2622

広域交通・リニア

224-2805

推進課

- 通勤や通学など日常生活の移動手段である鉄道やバス路線の維持・活性化のため、市町等と連携して利用促進などに取り組むとともに、国や市町と協調して支援します。
- リニア中央新幹線の最速2037年全線開業の実現に向けて関係者と連携して取り組むとともに、令和8年3月に策定予定の「みえリニア戦略プラン（仮称）」に基づき、リニア開業効果を県内全域に波及させるための取組を進めます。

広域交通ネットワークの構築

(一部新) 鉄道活性化促進事業 (21,123千円)

- 鉄道の維持・活性化のため、沿線自治体で構成する協議会において連携して要望活動や利用促進の取組を実施
- 新** JR関西本線（亀山～加茂間）の活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、沿線市と連携してマイレール意識の醸成や日常利用につながるモデル的な取組を実施するとともに、引き続き関西方面からの誘客・利用促進の取組を推進

鉄道利便性・安全性確保等対策事業 (134,485千円)

- 鉄道事業者が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国や沿線市町と協調して支援

伊勢鉄道基盤強化等対策事業 (139,939千円)

- 伊勢鉄道（株）が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の補助金も活用して支援

地方バス路線維持確保事業 (292,203千円)

- 地域間幹線系統バスの運行経費等に国と協調して補助を実施
- 県および市町の地域公共交通会議等において地域公共交通の活性化に向けた取組を実施



リニア中央新幹線関係費

(21,673千円)

- 名古屋・大阪間の環境アセスの着実な推進と一日も早い全線開業の実現に向けた活動を実施
- リニアを中心とした新たな広域交通ネットワーク構築に向けた機運醸成の取組を実施
- 市町や交通事業者等と連携して、「みえリニア戦略プラン（仮称）」の取組を推進



時速500kmのスピードでつながる
日本の新たな大動脈
約20分 約60分

大阪
(大阪市) 三重県
(亀山市) 東京
(品川駅)

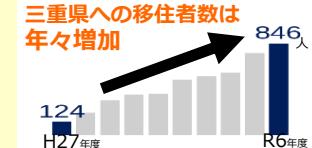


子どもたちへの
リニアに関する啓発活動

移住の促進

地域づくり推進課 224-2351
移住促進課 224-2420

- 人口減少下における社会減対策の1つである移住を促進するため、プロモーションや移住フェアの実施により本県のさらなる認知度向上を図るとともに、AI等も活用して移住相談対応を充実させます。
- 住まいの充実に取り組む市町等を支援し、移住者を受け入れる態勢を充実させます。
- 地域おこし協力隊の定住・定着促進に向けた支援体制を強化します。



移住の促進と定住・定着に向けた取組の充実

(一部新) 移住促進事業 (94,969千円)

プロモーションの強化

- 新** 移住者数の増加に向け「三重県移住促進計画（仮称）」を策定



みえ移住フェア

- 移住希望者のニーズや特性に応じた情報発信を実施
- 東京、名古屋、大阪で県独自の移住フェアを開催
- 仕事を変えずに移住できる中京圏をターゲットに名古屋駅でPR
- Facebookグループ「日々三重」による移住希望者への発信

相談対応の充実

- 新** 気軽に相談できるAI移住相談の導入

- 新** 相談者の興味・関心を分析する移住相談システムの導入

- 「美しき国みえ 移住相談センター」を中心に、きめ細かな相談対応を実施
- ターゲットを設定した移住セミナー、地域別の移住相談会を開催



移住相談アドバイザー(左)と就職相談アドバイザー(右)

移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 (41,463千円)

インフラ（住まい）の整備

- 三重県移住者の受入態勢充実支援事業補助金による、お試し住宅の整備や移住体験ツアーを実施する市町等への支援
- 県外からの移住者を対象に空き家リフォーム費用を支援

受入態勢の充実

- 移住者と地域をつなぐ人材を各地に育成する講座を開催
- 東京圏から移住した人を対象に、市町と連携して移住支援金を支給

(一部新) 地域おこし協力隊サポート事業 (8,443千円)

定住・定着促進に向けた支援体制の強化

- 募集・受入時 **新** 市町と元隊員等が連携した支援体制づくり

- 市町の課題に応じた助言・提案

任期中

- 隊員間のつながりづくりのための交流会を実施

退任後

- 定住に向けた相談窓口の設置
- 隊員・市町職員向けの研修会を実施



協力隊の交流会

競技スポーツの推進

スポーツ推進局
スポーツ推進課 224-2985
競技力向上対策課 224-2996

- 国民スポーツ大会をはじめとする全国大会や国際大会で活躍できるよう、選手・チームの強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます。
- 全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します。
- 県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、必要な整備を行います。また、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます。

競技力の向上

競技力向上対策事業（261,200千円）

選手・チームの強化

- 国スポをはじめとする全国大会や国際大会で活躍できるよう、選手（成年、ジュニア・少年）・チームの強化活動を支援

- ・チームみえ国スポ選手強化事業（130,456千円）
- ・アスリートタレント発掘・育成事業（12,841千円）

指導者の養成

- 幅広い世代で指導者を養成し、一貫指導体系を構築

- ・チームみえトップ指導者養成事業（15,047千円）

パラアスリートの強化

- 全国・国際大会で活躍できるパラアスリートの強化活動を支援

- ・パラリンピック等選手強化指定事業（8,700千円）



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業（2,323千円）

- 令和17年に本県で開催予定の第89回国民スポーツ大会の開催準備

スポーツ施設の充実

（一部新）三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業（766,343千円）

- サッカー・ラグビー場メインスタンドトイレほか改修工事 387,866千円

- 施設の効率的・効果的な管理運営 378,477千円

（一部新）三重交通G スポーツの杜 伊勢事業（471,200千円）

- 陸上競技場の第一種公認改修工事 ほか 367,887千円

- 施設の効率的・効果的な管理運営 103,300千円



▲三重交通G スポーツの杜 鈴鹿
サッカー・ラグビー場



▲三重交通G スポーツの杜 伊勢
陸上競技場

地域スポーツと障がい者スポーツの推進

スポーツ推進局
スポーツ推進課 224-2986
競技力向上対策課 224-2996

- 大規模大会等の誘致・開催、スポーツイベントの開催等に取り組む市町・競技団体等を支援します。
- 中学校部活動の地域展開を促進するため、総合型地域スポーツクラブの機能強化に取り組みます。
- 市町や競技団体と連携しながら、県民が運動やスポーツに親しむ機会の拡充を図ります。
- 障がいのある子どもたちのスポーツ参加を促進し、障がい者スポーツの裾野の拡大に取り組みます。

地域スポーツの推進

レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業（97,200千円）

- 市町・競技団体等が実施する国際大会、全国大会等の大規模大会の開催やスポーツ教室の開催等に必要な経費を支援

地域のきらりスポーツ推進事業（61,959千円）

- スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげるため、スポーツを通じて活躍する子どもたちやチーム等を支援

地域スポーツ推進事業（63,607千円）

- 中学校部活動の地域展開を促進するため、総合型地域スポーツクラブにおいて、指導者（有資格者）を養成するとともに、安全管理の研修会や中学生を対象とした体験会等を開催

（一部新）地域スポーツイベント開催事業（49,476千円）

- 県民の皆さんができるよう、「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催
- 令和8年4月の三重県誕生150周年を契機に、未来を担う子どもたちを主役とする「美し国三重市町対抗駅伝」を開催



▲男子プロテニス国際大会
(四日市チャレンジャー2025)



▲美し国三重
市町対抗駅伝

障がい者スポーツの推進

（一部新）障がい者スポーツ推進事業（70,283千円）

- 「三重県障がい者スポーツ支援センター」において、県民・企業等からの相談対応、SNS等を通じた情報発信、障がい者スポーツ団体と企業等の連携を促進
- 障がい者スポーツ選手の発掘につなげるため、初心者講習会や指導員養成研修を実施
- 障がいのある子どもたちがスポーツの楽しさを感じられるよう、特別支援学校の児童・生徒を対象としたスポーツ教室を開催



▲さまざまな障がい者スポーツ

南部地域の振興

南部地域振興局
南部地域振興企画課 224-2192
東紀州振興課 224-2193
交通政策課 224-2622

- 「三重県南部地域振興プラン」の3つの取組方向に基づき、南部地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、副業や兼業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます。
- 南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による南部地域の活性化に向けた取組を支援します。

南部地域活性化基金を活用した取組等

(一部新) 南部地域活性化推進事業（総合調整事業）（5,490千円）

- 南部地域の若者等の地域への愛着等を把握するため、南部地域の高校生等や定住者、Uターン者などを対象としたアンケート調査や課題解決に資する先進事例調査を実施

南部の地域づくり連携推進事業（11,750千円）

- 県土整備部と連携し、空き家の非住宅（店舗等）への改修費及び除却費を支援
- 農林水産部と連携し、担い手確保に向けた労働環境の整備に必要な機械・設備の導入を支援

南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業（5,085千円）

- 南部地域における多様で柔軟な働き方の確立に向け、スポットワークの利用促進のための取組を実施

（新）南部地域の関係人口コーディネート事業（11,504千円）

- 南部地域における地域内人材の広域連携を強化するための情報収集や関係性構築、都市部の関係人口への情報発信や関わりたい取組などの情報収集を行うコーディネーター（関係案内人）を配置



関係人口と地域住民の交流

南部地域活性化基金支援事業（6,772千円）

- 若者の定着・人口還流や地域産業の活力向上、賑わいのある南部地域に向けた事業に連携して取り組む市町を支援

- 「三重県熊野古道活用プラン」に基づき、案内標識やトイレ等の観光インフラ整備、さらなる誘客を図るための魅力発信の強化、持続可能な保全体制の構築に取り組みます。
- 県立熊野古道センターの常設展示について、令和9年度を目途にリニューアルオープンができるよう取組を進めます。

熊野古道の未来への継承と活用

(一部新) 熊野古道活用促進事業（44,483千円 ※2月補正予算含み）

- 案内標識の整備等を行う市町を支援
- 次世代を担う子どもたちを対象とした保全体験・学習機会の提供
- 保全活動のための新たな財源確保策の検討
- クマの出没に対する注意喚起などの安全対策の実施
- 効果的な情報発信・プロモーションの実施

（新）熊野古道伊勢路の魅力発信・誘客促進事業（15,483千円）

- 市町、観光協会等と連携した旅行商品の造成等
- 第63回神宮式年遷宮や令和16年の世界遺産登録30周年も見据え伊勢路の魅力発信を強化

Easy Access to 東紀州！プロジェクト推進事業（25,607千円）

- 熊野古道来訪時における二次交通の利便性向上、外国人旅行者を含む誘客促進、東紀州地域の体験型コンテンツの磨き上げ等の実施

東紀州地域集客交流推進事業（163,297千円）

- 県立熊野古道センターにおける東紀州地域の歴史・文化・自然等の発信及び集客交流の促進
- 常設展示室のリニューアルに向けコンテンツ制作等を実施



県立熊野古道センター

持続可能な観光地づくり ※観光資源活用推進事業（観光部）の一部

観光客受入環境整備事業（10,000千円 ※2月補正予算）

- 伊勢路沿線の市町が管理するトイレの洋式化・高機能化等を支援

3 その他の主要事業

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
《政策名：地域づくり》 〈施策名：(9-1)市町との連携による地域活性化〉 1 持続可能な地域コミュニティづくり推進事業 2,246 千円 【(9-1-1) 市町との連携・協働による地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組みを活用し、住民が主体となった地域のコミュニティづくりがより多くの地域に広がるように取り組みます。また、若者の力を地域コミュニティの活性化に生かすため、地域づくり団体等において地域活動を体験する機会を提供し、若者が地域づくりの経験を積む取組を進めます。	地域づくり推進課 (224-2351)
2 市町振興事務費 6,100 千円 【(9-1-2) 市町行財政運営の支援】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 2 市町振興費) 市町が今後も安定的な行財政運営を継続的に行うことができるよう、地方行財政制度の適正な運用に加え、行財政運営の改善につながる取組についても、「市町と県との勉強会」を開催するなど、必要な支援を行います。	市町行財政課 (224-2171)
3 木曽岬干拓地整備事業 280,353 千円 【(9-1-3) 木曽岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地区画整理事業を策定するとともに、農業体験広場の暫定利用等を進めます。また、干拓地のアクセス向上を図る道路の整備に向けて、関係者との調整や設計等を進めます。	水資源・地域 プロジェクト 課 (224-2419)
4 特定振興地域推進事業 28,665 千円 【(9-1-3) 木曽岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 大仏山地域に整備した散策路等を適切に維持管理し、利用促進に取り組みます。また、宮川の流量回復については、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間において、鮎の生息環境や水質などについて引き続き調査を進めるとともに、利水者など関係者や流域市町との意見交換を継続しながら、より良い流況に向けて取り組みます。	水資源・地域 プロジェクト 課 (224-2010)

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>5 奥伊勢湖環境保全対策協議会負担金 5,000 千円 【(9-1-3) 木曽岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画し、奥伊勢湖の豊かな自然環境を守るための活動を支援します。</p>	水資源・地域 プロジェクト 課 (224-2010)
<p>6 地域活性化支援事業 2,798 千円 【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 過疎地域等の市町が実施する住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域活性化のための取組に対し補助金を交付するとともに、集落支援員のスキルアップ研修を実施します。</p>	地域づくり推 進課 (224-2351)
<p>7 離島航路支援事業 60,406 千円 【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 離島住民の生活基盤の安定化と離島の自立的発展を促すため、離島航路事業者の実質欠損額に対して支援を行い、航路の維持・確保を図ります。</p>	南部地域振興 企画課 (224-2192)

〈施策名：(9-3) 南部地域の活性化〉

<p>1 南部地域の企業・魅力体感事業 4,165 千円 【(9-3-1) 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 南部地域外に進学・就職した若者を対象に、南部地域の企業の見学や地域で活躍している方々との交流のほか、自然や文化の体験を通して、南部地域での暮らしの魅力を体感してもらえるバスツアーを実施します。</p>	南部地域振興 企画課 (224-2192)
<p>2 多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業 10,581 千円 【(9-3-2) 地域住民のチャレンジによる地域の活力向上】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 第一次産業等の体験により、地域の魅力や課題を知る機会を提供し、関係人口の創出につなげます。また、地域で活躍する人々が取組発表や意見交換を行う連続講座を開催し、地域や世代の垣根を超えたネットワークを形成します。</p>	南部地域振興 企画課 (224-2192)

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(9-4) 東紀州地域の活性化〉</p> <p>1 東紀州地域振興推進事業 15,948 千円 【(9-4-1) 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 東紀州地域の活性化を図るため、市町をはじめとする関係団体と連携を図りながら、観光振興、産業振興等の面から総合的に地域づくりを推進する一般社団法人東紀州地域振興公社の取組に対し支援を行います。</p>	東紀州振興課 (224-2193)
<p>2 選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業 6,568 千円 【(9-4-1) 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 地域の資源を生かした商品のブランド力強化や高付加価値化、販路拡大、地域特産品の情報発信など、地域産業の活性化を促進するための基盤づくり等の取組を支援します。</p>	東紀州振興課 (224-2193)
<p>《政策名：交通・暮らしの基盤》</p> <p>〈施策名：(11-2) 公共交通の確保・充実〉</p>	
<p>1 航空関係費 68,903 千円 【(11-2-2) リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に 向けた取組の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費) 中部国際空港利用促進協議会や関西国際空港全体構想促進協議会等の活動や調査を通じ、両空港や空港アクセスの利用促進・利便性向上に取り組むとともに、令和9年度供用開始予定の中部国際空港の代替滑走路整備事業を支援します。</p>	広域交通・リニア推進課 (224-2805)
<p>〈施策名：(11-4) 水の安定供給と土地の適正な利用〉</p> <p>1 工業用水道事業会計出資金 327,903 千円 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費) 県勢振興のために確保している水源の工業用水に係る管理費等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資します。</p>	水資源・地域プロジェクト課 (224-2010)

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>2 地籍調査費負担金 421,194 千円 (581,210 千円 ※R 7年度 2月補正予算含みベース) 【(11-4-2) 適正な土地の利用および管理】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費) 土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。</p>	水資源・地域 プロジェクト 課 (224-2010)
<p>《政策名：文化・スポーツ》</p> <p>〈施策名：(16-2)競技スポーツの推進〉</p>	
<p>1 国民スポーツ大会派遣事業 127,499 千円 【(16-2-1) 競技力の向上】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費) 国民スポーツ大会および東海ブロック大会等に、本県代表選手・監督等を派遣します。</p>	競技力向上対 策課 (224-2996)
<p>2 ドリームオーシャンスタジアム事業 23,761 千円 【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費) 指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、防球ネットを追加するなど、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。</p>	スポーツ推進 課 (224-2985)
<p>3 県営ライフル射撃場事業 12,380 千円 【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費) 指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、電子標的を更新するなど、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。</p>	スポーツ推進 課 (224-2985)